

## 経営改善促進グループの育成

(水産庁 沿岸漁業者等経営改善促進グループ等取組支援事業)

鹿児島地域振興局 林務水産課

### 【背景・目的】

沿岸漁業者経営改善促進グループ等の支援を通じて、中核的漁業者の確保育成に努め、活力の低下が懸念される各漁村地域の活性化を図った。

### 【普及の内容・特徴】

管内の3グループ(喜入藻類養殖加工グループ, 串木野市島平漁協加工販売起業化グループ及び羽島漁協加工販売起業化グループ)の活動を支援した。

各グループの活動実績等は以下のとおり。

1 グループ名	喜入藻類養殖加工グループ	串木野市島平漁協加工販売起業化グループ	羽島漁協加工販売起業化グループ
2 認定年月	平成21年5月認定	平成22年6月認定	平成23年4月認定
3 計画期間	平成21年度～24年度 (4カ年)	平成22年度～24年度 (3カ年)	平成23年度～25年度 (3カ年)
4 構成員	15名 代表者; 追立 秀秋	11名(10個人, 1法人) 代表者; 濱崎 弘子	11名(10個人, 1法人) 代表者; 藤崎 キセ
5 活動内容	販促活動, 施設整備等	地域水産物の販売・加工活動	地域水産物の販売・加工活動
6 経済活動実績	・喜入わいわいまつりや喜楽市で販売活動 ・ヒトエグサ佃煮 ・地元採苗試験	・惣菜・弁当開発 ・加工品の販売促進 ・衛生管理研修会 ・視察研修 ・開きの加工体験	・すり身ボールの開発 ・加工品の販売促進 ・衛生管理研修会 ・視察研修
7 支援事業の実施	無し	冷凍庫整備, リフレット作成等 事業費: 882千円	冷凍庫, フライヤー等整備 事業費: 679千円
8 今後の課題	近年, 鹿児島湾内のヒトエグサの生産が不安定化しているため, 引き続き関係者が連携して生産の増大とヒトエグサの付加価値向上に取り組む必要がある。	惣菜等の加工数量・金額は増加傾向にあり, 引き続き漁協直売所や食堂と連携した活動を行っていく必要がある。 また, 加工体験のイベントを行い消費者に手作り加工品の良さを理解してもらおう取組も重要。	今後もバッチ網や刺し網などに混獲される低利用魚の活用を図っていくと共に漁協が毎月開催している“軽トラ市”等と連携し販売を促進していく必要がある。

### 喜入藻類養殖加工グループ



図1 地元採苗試験を行った養殖網



図2 青のり佃煮(喜入町農産加工組合連携)

### 串木野市島平漁協加工販売起業化グループ



図3 魚の開き作り体験



図4 手作り加工品弁当

### 羽島漁協加工販売起業化グループ



図5 すり身ボール(前浜ミンチ)



図6 うんのもん  
軽トラ屋台市  
(毎月第2土曜日)



図7 試食販売  
(軽トラ屋台市)